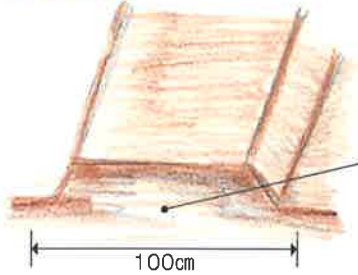


# あなたもチャレンジ! 家庭菜園 トマト

トマトの原産地はアンデス山脈高原地帯で、温暖な気候と日当たりを好みます。このことからトマトは梅雨どきは日照不足、また、盛夏は高温が原因で落花することもあります。低温には強いほうですが、霜にはきわめて弱い性質があります。根は深く、広く伸び、過湿も苦手です。

トマトは病害虫の多い作物ですが、これらの病害虫に抵抗性を持つ品種も多くあります。購入するときの目安にしましょう。

## 畑の準備



荒起こしするとき(全層に)  
苦土石灰150g/m<sup>2</sup>  
堆肥3kg/m<sup>2</sup>  
元肥  
化成肥料120g/m<sup>2</sup>  
(N・P・K=8・8・8)

## 植えつけ

植えつけ前日に、植え穴へ300倍の液肥を施しておく。  
深植えは禁物で、徒長苗はねがすように植えつけ、茎と土が接する部分から発根させるとよい。植えつけ後に液肥を施すと、根づくのに効果的

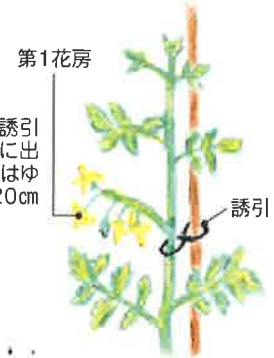


本葉4、5枚ころ、一番花が咲きはじめるころに畑に植えつける。ただし、植えつけは霜の心配がなくなってからが良い

5号ポット苗

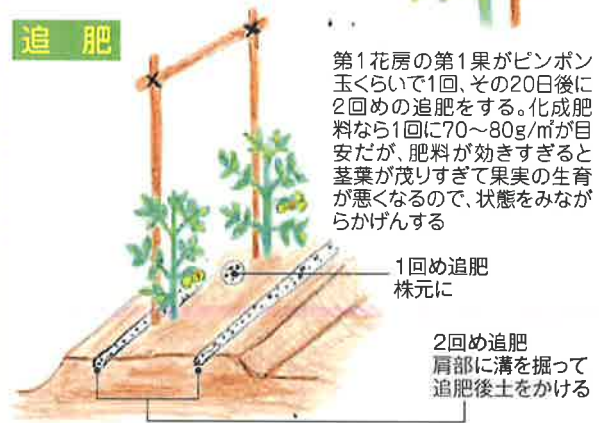
## 誘引

第1花房は支柱の反対側に向けて誘引しておく、ほかの花房も同じ方向に出てくるので、作業のときに便利。ひもはゆとりをもって8の字形に結ぶ。茎は20cm間隔で誘引する



## 追肥

第1花房の第1果がピンポン玉くらいで1回、その20日後に2回目の追肥をする。化成肥料なら1回に70~80g/m<sup>2</sup>が目安だが、肥料が効きすぎると茎葉が茂りすぎて果実の生育が悪くなるので、状態をみながらかけんする



1回目追肥  
株元に

2回目追肥  
肩部に溝を掘って  
追肥後土をかける